

トーキング ロード
嘶家人生 山あり、谷あり

〔 第8回 〕

名付け親は師匠です

+ 文 林家木りん Text by Kirin Hayashiya +

落語家になってしばらくすると師匠から頂けるもの、それは芸名です。

入門後、約1年間の見習い期間中に師匠が「この弟子は一体どういう人間か、どういう性格か」を見極め、その人にあつた名前をつけるのです。

僕もこの見習いを経て、師匠木久扇に「林家木りん」という名前をつけてもらいました。芸名をもらう時、師匠から、

「君には縁起の良い人になってもらいたい。だから中国の神獣『麒麟』から取りました。この麒麟は景気が良くなる時に出現する神獣です。それから君は動物のキリンのように身長が高いから僕の木の字をとって木りん」

とちゃんとした意味があるのです！これを側で聞いていた、兄弟子のひろ木兄さんが、

「師匠、僕はどうしてひろ木なんですか？」

と質問したら、

「君は広島出身だから」と簡単なもので、ひろ木兄さんはひどく落ち込んでおりました(笑)。

それから師匠は名前をつけるのは家の長がつけるものだと思っておりますので、子供や孫はもちろんペットの名前まで師匠がつけております。

初孫の時は師匠も相当悩んでいた様

で、女の子だから子の字をつけたいといつて、寝る前にメモ用紙にいろんな名前を書いていました。

掃除の時そのメモ用紙を見つけてしまいいてみると：

メモ用紙には愛子、加奈子、由紀子といろんな名前書いてあり、悩み過ぎた師匠はなにを血迷ったか一番下に書いてあつたのが「かきくけこ」(笑)。

名前をつけるというのは難しいですね。名前になんだ落語で「寿限無」という嘶があります。

今では小学校の教科書にも載っているので有名ですよ。

名前を言うだけだと思ってる方も多いと思いますが、この嘶は15分ある物語なのです。子供の名前をつけてもらいに隠居さんの所へ行き、縁起の良い名前をいくつも教えてもらった結果それを全部つけてしまったのがこの名前。

「寿限無 寿限無 五劫の擦り切れ海砂利 水魚の水行末雲来末風来末食う寝るところに住むところやぶら小路の藪柑子 パイポパイポパイポのシューリンガン シューリンガンのグーリンダイグーリンダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助」

こんなに長い名前をつけられたお子

さんこのあとどうなっているのか？落語入門編の一つ。まだ聴いたことのない人は寄席に行つてみてください。名前をもらったばかりの落語家が演っているかもしれませんよ！



profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。
2009年林家木久扇に入門
2013年二ツ目昇進。
身長192cmと、落語協会一の高身長！
趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。
空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。
初の著書『師匠!』発売中

独演会のお知らせ

日時：10月19日(土)

14時開演(13時半開場)

会場：聖徳記念絵画館(明治神宮外苑)

チケット：前売り 2,800円

当日 3,000円

ご予約お問い合わせ：オールドキッズ

電話：045-309-1007

(受付時間 平日11時～18時)

メール：kirin.kirin.kirin24@gmail.com